

情勢報告

予防散布で病害ゼロへ！ ～芸東集出荷場研究会ナス部会総会～



予防散布は出来ていますか？

9月20日、JA土佐あき芸東集出荷場研究会ナス部会がJA土佐あき羽根事業所で総会を開催し、生産者21人が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は栽培管理や病虫害対策、特に10月に発生が予想される難防除病害「ナスのフザリウム立枯病」について予防対策、発生後の罹病株の持ち出し等の徹底を指導しました。

生産者からは「今年はナスのフザリウム立枯病が発生しないように、もう予防散布をした。今後も定期的に薬剤散布し、防除に努める」といった声が聞かれ、防除意識を高めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も部会や個別巡回等でナスの病虫害対策を指導し、収量・品質の向上を図ります。

目標収量に向かって今作もがんばろう！ ～サポートハウス利用者への支援～



サポートハウス利用者を巡回指導

9月21日、JA土佐あき、安芸市、農業改良普及課などで構成している安芸市新規就農支援チーム会は、JA・安芸市のサポートハウスでナスを栽培している4人に、JA土佐あき北支所で個別面談し、前作の実績と課題を共有して、今作の目標収量や取り組み内容を設定しました。農業改良普及課は、前作の課題となった病害やかん水管理などを指導し、目標の設定や新たな取り組み内容を助言しました。

利用者の中には就農1年目の収量が21t/10aを上げた人がおり、「さらに上を目指して、しっかり実績を残したい」と語ってくれました。

農業改良普及課は、今作もサポートハウス利用者の目標達成に向けて指導します。

協力して就農者を増やそう！！ ～中芸地区就農支援ネットワーク会開催～



安田町にあるJA経営実践用サポートハウスを視察

中芸地区の各町村は、(新規)就農に関する情報を共有するため、平成28年度に「就農支援ネットワーク会」を設立し、就農促進に向けた様々な検討を行っています。

9月25日、今年度4回目の会を安田町で開催しました。今回はこの会で設置の協議をしてきたJAの経営実践用サポートハウスの視察と安芸市の就農支援の取り組み事例について研修をしました。

農業改良普及課は、会の企画・運営を支援するとともに、就農希望者へのPR活動の必要性や、「高知大学生との交流（11月）」「新農業人フェアへの参加（1月）」等を提案し、早めに準備することを確認しました。

次回は、10月下旬に開催し、「高知大学生との交流」の準備を行うこととしています。

環境制御技術で増収を目指そう！ ～園芸研究会米ナス部会～



環境制御技術について説明する技師（中央）
と熱心に聴く生産者

9月26日、安芸集出荷場でJA土佐あき園芸研究会米ナス部会が開催され、7人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、29園芸年度の実証結果を説明し、効果的な炭酸ガス施用方法を指導しました。生産者からは「炭酸ガスは良い。経費も回収できる」、「前作の結果をもとに栽培管理を改善する」といった環境制御技術に前向きな意見がありました。

農業改良普及課は、今後も部会活動や個別巡回を通じて環境制御技術のPRを行うとともに、技術導入者に対しては増収につながるように指導していきます。

新園芸年度のトルコギョウはじまる！！ ～芸西支部トルコ部会現地検討会～



晴れたり曇ったりで水管理が難しいわ～

10月3日、JA土佐あき芸西支部トルコ部会の現地検討会が開催され、10人の部会員が参加しました。農業改良普及課からは年内出し作型の水管理やチャノキイロアザミウマとヨトウ類の防除について指導しました。

生産者からは、「草姿が細くならんように水管理せんといかん」、「今年は虫が多くて困る。食われる前に防除せんといかんね～」といった声が聞かれ、水管理と害虫防除の意識を向上することができました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して現地検討会などを通じて栽培技術の向上による産地の発展を推進します。

活発な意見交換ができたぜよ ～東支所ナス勉強会～



環境制御技術による増収効果について説明する普及指導員（中央）

10月11日、農業改良普及課はJA土佐あきと共同で川北・伊尾木地区の生産者を対象にナス勉強会をJA土佐あき東支所2階ホールで開催し、生産者10人が出席しました。

農業改良普及課は厳寒期のナスの病虫害対策を指導し、環境制御技術の基礎知識・増収効果を説明しました。

生産者からは「環境制御による収量増や省力化に興味がある」といった声があった一方、「収量増によって人手が足らなくなるよりは高齢者が元気に働けるような取り組みも考えてほしい」など様々な意見も出て、活発な意見交換の場になりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、JA土佐あき東支所管内の生産者への個別巡回や勉強会を通して対話を深め、環境制御技術の普及率向上に努めます。

ユズの収穫が始まります！ ～柚子部東川支部 出荷目慣らし会～



この品質の玉やったら青果？加工？

10月12日、JA土佐あき柚子部東川支部はユズ出荷目慣らし会を開催し、75人の部会員が参加しました。JAからは出荷規格や出荷時の注意点について説明があり、農業改良普及課からは昨年多発した褐色腐敗病の防除や、県内で注意報の出ているカメムシの防除、お礼肥の施用等の収穫に向けた管理を指導しました。

生産者からは、「去年は病気で玉がいっぱい腐ったき、今年は防除せないかん」、「果実が少なくても、お礼肥をやらんがはいかんがやねえ」等の声が聞かれ、収穫に向けた防除や肥培管理の意識向上につながりました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携してユズの生産量の維持・拡大に向け、生産者の栽培技術向上を支援します。

カメムシなんかぶっ飛ばせ！！ ～果樹部会研修会～



熱心に聞く生産者

10月12日、JA土佐あき果樹部会は室戸市吉良川町の西山台地で合同研修会を開催し、15人の果樹生産者が参加しました。

農業改良普及課室戸支所からは、吉良川地区の1月から9月までの気象推移とポンカンの子育状況を説明し、今後の栽培の注意点としてカメムシ類の防除について指導しました。

参加した生産者は、平年並みの着果と果実肥大に安堵感を持つ一方、カメムシ類の防除について熱心に意見交換し、防除対策への関心を高めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も部会活動や個別巡回を通して、適期防除や栽培管理について指導し、果樹の産地振興を図ります。